

解剖の美学

はづきち「鳥って空中で方向変える時に左右の羽ばたき回数を変えずに胴の姿勢を変えて曲がるそうですね。左右で羽ばたきを変えると乱気流が発生して制動が難しくなるとか。誰か鳥人類の生徒に試して貰おうかな、非対称羽ばたき飛行」

白倉「自然選択まじパネェって感じっスね。鳥は学生の頃よく解剖したなあ。海岸とかで死んでる奴を集めて嘔下物の調査のために胃を取り出すんスよ。BB弾くらいの樹脂製ペレットが山程出て来て、何でこんなモン食うのかなって。釣針が胃を破いちゃって腹腔全体が膿だらけの奴はキモかったスね。新鮮だったから膿が錆みたいな匂いなんですよ。ちょっと腐ってるくらいのほうが臭いは落ち着くんで、そのまましばらくほっといたら蠅だらけになったりして。ははは」

はづきち「……ほんと、解剖好きだよな」

白倉「あたり前じゃないスか。今もチャンスがあればどんどん解剖したいですよ。ほら、竜崎って結構恐竜っぽい特徴があるでしょ、あいつ解剖したいんですよね。あいつの骨格はきっと鳥に似てる。鳥と爬虫類の起源を決定する手掛かりになりそうじゃないっスか」

はづきち「わざわざ解剖しなくても、恐竜と違って現に生きてるんだから塩基配列の変異で推定できるでしょうが」

白倉「それじゃ解剖できない！解剖がメインなんですよ！？」

はづきち「メインかよ」